

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-124	高等学校	商業	簿記	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 007-903	高校簿記 新訂版		

1. 編修の基本方針

取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指し、簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることで、個人の能力を伸ばし、勤労を重んずる態度を養うことを意識している。

- ① 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、学習事項に関連する内容の会計処理方法を紹介する囲み記事や学習した内容の確実な理解を図ることを目的とした囲み記事等を掲載している。
- ② 自主及び自立の精神を養う観点から、確認問題・完成問題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮している。
- ③ 正義と責任を重んずるという観点から、会計担当者の責任や不正を防止するための内部統制システムを紹介した。また、商法の抜粋を掲載するなど会計帳簿に関する法規も掲載した。
- ④ 伝統と文化を尊重するという観点から、簿記の 500 年を超える歴史を紹介している。また、他国を尊重、国際社会の発展に寄与するという観点から、基本的な用語については英語表記も行っている。
- ⑤ 職業及び生活との関連という点から、主要簿と補助簿の関係（補助簿の役割や活用例）についても記述している。また、学習者が具体的にイメージできるよう小切手、手形等のひな形も数多く掲載している。

2. 対照表

(例)

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
まえがき	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい森や肥沃な平野に恵まれ、豊かな自然と共生しながら発展してきたわが国と簿記の果たしてきた役割について記述した。(第4号) ・簿記には 500 年余りの歴史があり、その必要性は現在でも失われることはないことを記述した。(第5号) 	p. 7～8
第1編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、簿記原理に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) 	<p>p. 13～68</p> <p>p. 13</p> <p>p. 13</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「簿記の歴史」の項目の中では、複式簿記が実際に企業経営のなかで広く活用されてきた点を記述し、さらに公認会計士という職業についても言及している。(第2号, 第3号) ・自主及び自律の精神を養い、職業及び生活との関連を重視するといった点から、正確かつ明瞭な記帳処理を行うための帳簿記入上の注意点を囲み記事として掲載した。(第2号) ・真理を求める態度を養うという点から、取引を仕訳し、転記が正しく行われたかを確認することを主な目的として作成する試算表について記述している。また、試算表による検証機能についても言及している。(第1号) 	<p>p. 16</p> <p>p. 43</p> <p>p. 47～52</p>
第2編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、取引の記帳と決算に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) ・現金勘定では把握できない明細を記入するための現金出納帳や売掛金勘定だけでは把握できない明細を記入するための売掛金元帳など主要簿と補助簿の役割や実際の活用例を記述し職業及び生活との関連を重視している。(第2号) ・自主及び自律の精神を養う観点から、練習問題の前に学習事項のまとめを記載し、自学自習に役立つように配慮している。(第2号) 	<p>p. 69～132</p> <p>p. 69</p> <p>p. 69</p> <p>p. 71, p. 98～99</p> <p>p. 84, p. 106～107, p. 111～112, p. 128</p>
第3編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、取引の記帳と決算に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) ・伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) ・職業及び生活との関連を重視するという観点から、約束手形のひな形を掲載している。(第2号) ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、利息計算に関連した日数計算の方法についても囲み記事で掲載した。(第1号) ・自主及び自律の精神を養う観点から、練習問題の前に学習事項のまとめを記載し、自学自習に役立つように配慮している。(第2号) 	<p>p. 133～194</p> <p>p. 133</p> <p>p. 133</p> <p>p. 136</p> <p>p. 140</p> <p>p. 143, p. 157～158, p. 164, p. 169, p. 190</p>
第4編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、帳簿・伝票と記帳の効率化に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) 	<p>p. 195～220</p> <p>p. 195</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) ・ 協力を重んずる観点から、業務をいくつかの課や係に分けて担当する分課制度を扱い、合理的な記帳をするための帳簿組織を設ける際の留意点等について掲載している。(第3号) ・ 正義と責任を重んずる観点から、一つの取引を二つ以上の課や係で記帳し、これを照合することによって記帳の誤りや不正を防ぐことと、内部統制システムについて掲載している。(第3号) ・ 職業及び生活との関連を重視するという観点から、各種伝票のひな形と記入例を掲載している。また、会計ソフトウェアについて、入力・出力画面を掲載している。(第2号) ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、仕訳集計表の合計金額とすべての伝票の合計金額との関係を記述している。(第1号) 	<p>p . 195</p> <p>p . 197～198</p> <p>p . 198</p> <p>p . 201～204, p . 218～220</p> <p>p . 211</p>
第5編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、取引の記帳と決算に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・ 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) ・ 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) ・ 自主及び自律の精神を養う観点から、練習問題の前に学習事項のまとめを記載し、自学自習に役立つように配慮している。(第2号) ・ 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、棚卸減耗損と商品評価損の計算について発展学習として掲載している。(第1号) 	<p>p . 221～246</p> <p>p . 221</p> <p>p . 221</p> <p>p . 229～230</p> <p>p . 245～246</p>
第6編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、本支店の会計に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・ 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) ・ 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) ・ 自主及び自律の精神を養う観点から、練習問題の前に学習事項のまとめを記載し、自学自習に役立つように配慮している。(第2号) ・ 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、支店が二つある場合の本支店財務諸表の合併についても囲み記事で掲載した。(第1号) 	<p>p . 247～266</p> <p>p . 247</p> <p>p . 247</p> <p>p . 252～253, p . 263</p> <p>p . 262</p>
発展編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、株式会社の記帳に関する基礎的な内容を記述した。(第1号) ・ 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、風景写真を掲載した。(第4号) ・ 伝統と文化を尊重するという観点から、偉人が残した簿記会計に関する名言を掲載した。(第5号) 	<p>p . 267～283</p> <p>p . 267</p> <p>p . 267</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自律の精神を養う観点から，練習問題の前に学習事項のまとめを記載し，自学自習に役立つように配慮している。（第2号） 	<p>p . 272, p . 279, p . 283</p>
記帳例題	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自立の精神を養う観点から，記帳例題を掲載し，自学自習に役立つよう配慮している。（第2号） 	p . 284～290
総合学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自立の精神を養う観点から，簿記の理解を深める課題（考えてみよう）を掲載し，創造的に対応できる力が身に付くように配慮している。（第2号） ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，財務諸表の誤りを見つける課題（実践してみよう）を掲載している。（第2号） 	<p>p . 291～295 p . 296～297</p>
英語表記一覧表	<ul style="list-style-type: none"> ・他国を尊重，国際社会の発展に寄与するという観点から，基本的な用語について，英語表記一覧表を掲載している。（第5号） 	p . 298～299

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ① 豊かな人間性，創造性を養うという観点から，様々な形式の例題を扱い，対応する練習問題を掲載している。
- ② 一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得するという観点から，個人企業の取引の記帳，分課制度や帳簿組織，取引の記帳と財務諸表の作成を効率的に行うための会計ソフトウェアの活用，さらには株式会社における記帳まで丁寧に記述している。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-124	高等学校	商業	簿記	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 007-903	高校簿記 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、「簿記」を履修する学習者のために、複式簿記の構造及び商業簿記の基礎を理解させることを目的として編修した。

本書は、上記の目的を効率よく達成できるようにするために以下の点に配慮して編修している。

- (1) 全体を「第1編 簿記の基礎」, 「第2編 取引の記帳と決算Ⅰ」, 「第3編 取引の記帳と決算Ⅱ」, 「第4編 帳簿・伝票と記帳の効率化」, 「第5編 取引の記帳と決算Ⅲ」, 「第6編 本支店の会計」, 「発展編 株式会社の記帳」に分けて、編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。
- (2) 第1編～第3編, 第5編の各編では、取引から決算に至る簿記の記帳手続きの流れをそれぞれ一貫して示し、学習者が簿記の記帳手続きの全体像を見失わないように構成した。
- (3) 上記の編構成にともない、決算は、4段階に分けて、それぞれ各編の最終章として配置した。このうち、「決算」(第1編)では、決算の意味と、決算整理を含まない決算手続きを説明し、また「決算(その1)」(第2編)では、主要な決算整理事項の基本的な処理手続きについて説明した。そして、「決算(その2)」(第3編)では、少し進んだ学習として、間接法による減価償却の手続き、費用収益の見越し・繰り延べを扱った。また、「決算(その3)」(第5編)では、さらに進んだ段階の学習として、有価証券の評価及び定率法による減価償却費の計算などを扱った。このように、決算を4回扱うという徹底したサイクルメソッドにより、段階的な学習が行えるように構成した。
- (4) 注は、本文と対比しやすいように、該当箇所の横に配置した。
- (5) 「簿記」への興味・関心の喚起、個々の学習事項の確実な理解、幅広い知識教養のために、「Self check」「Let's Try」などの囲み記事を設けた。また、学習者にとって間違いやすい箇所や重要なポイントとなる箇所には、側注スペースを中心に男性と女性キャラクターがナビゲーターとしてポイント解説を行っている。
- (6) 図解を多く用いて、記帳手続きの流れや学習事項の相互関係などを視覚的に理解できるように配慮している。
- (7) 本書では、本文中に「例題」を設け、取引の記帳に関する章の章末に仕訳のまとめを示し、各章末に「確認問題」, 「完成問題」さらに巻末には「記帳例題」と「総合学習」を設けることにより、個々の学習事項の確実な理解から、記帳手続きの全体的な流れや各種帳簿間の関係等の理解、そして、正確で迅速な記帳技術の習得までを、段階的に学習できるように構成した。
- (8) カラーユニバーサルによる全編カラーとし、記帳体系や金額記入の流れなどについて視覚的に理解できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 簿記の基礎	(1) 簿記の原理	p. 13～68	
第1章 企業の簿記	ア 簿記の概要		2
第2章 簿記の要素	イ 簿記一巡の手続		6

第3章 取引と勘定 第4章 仕訳と転記 第5章 仕訳帳と総勘定元帳 第6章 試算表 第7章 決算			4 2 3 4 8
記帳例題 第1例題 総合学習		p. 284~285 p. 291~292	4 1
第2編 取引の記帳と決算Ⅰ 第8章 現金・預金の記帳 第9章 商品売買の記帳 第10章 掛け取引の記帳 第11章 固定資産の記帳 第12章 決算(その1)	(2) 取引の記帳 ア 現金と預金 ウ 商品売買 オ 固定資産 (3) 決算 ア 決算整理 イ 財務諸表作成の基礎	p. 69~132	7 8 7 3 7
記帳例題 第2例題 総合学習		p. 286~287 p. 293~297	4 1
第3編 取引の記帳と決算Ⅱ 第13章 手形取引の記帳 第14章 その他の債権・債務の記帳 第15章 販売費及び一般管理費の記帳 第16章 資本金の記帳 第17章 決算(その2)	(2) 取引の記帳 イ 債権・債務と有価証券 エ 販売費と一般管理費 カ 個人企業の純資産と税 (3) 決算 ア 決算整理 イ 財務諸表作成の基礎	p. 133~194	6 4 4 4 8
記帳例題 第3例題		p. 288~290	4
第4編 帳簿・伝票と記帳の効率化 第18章 帳簿 第19章 仕訳伝票と3伝票制 第20章 会計ソフトウェア	(1) 簿記の原理 ウ 会計帳簿 (5) 記帳の効率化 ア 伝票の利用 イ 会計ソフトウェアの活用	p. 195~220	2 8 5
第5編 取引の記帳と決算Ⅲ 第21章 有価証券とその他の手形取引の記帳 第22章 決算(その3)	(2) 取引の記帳 イ 債権・債務と有価証券 (3) 決算 ア 決算整理 イ 財務諸表作成の基礎	p. 221~246	5 8
第6編 本支店の会計 第23章 支店の取引 第24章 本支店の財務諸表の合併	(4) 本支店会計 ア 本店・支店間取引と支店間取引 イ 財務諸表の合併	p. 247~266	3 8
発展編 株式会社の記帳 第25章 設立と開業の記帳 第26章 剰余金の処分に関する記帳 第27章 株式会社の税金の記帳		p. 267~283	
		計	140

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-124	高等学校	商業	簿記	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 007-903	高校簿記 新訂版		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
142	電子記録債権	1	(2) 取引の記帳 イ	1
155	役員貸付金と役員借入金	1	(2) 取引の記帳 イ	0.5
156	クレジット売掛金	1	(2) 取引の記帳 イ	1
245～ 246	棚卸減耗損および商品評価損の 計算	1	(3) 決算	1.75
267～ 283	発展編	1		17
合計				21.25

- (備考)
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2